

しんぶん **大村洋子**

ヨーコ・ヨコスカ・ストーリー♪

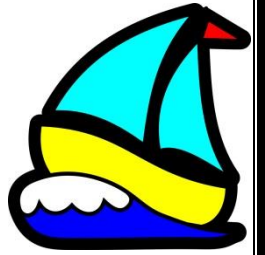
2015年 7月30日発行 111号

三浦半島地区委員会 公郷2-21-1

046-851-1123

大村・携帯 090-1107-0498

ブログ [一人ひとりが花開く](#) →検索



市内施設の視察&平和美術展鑑賞



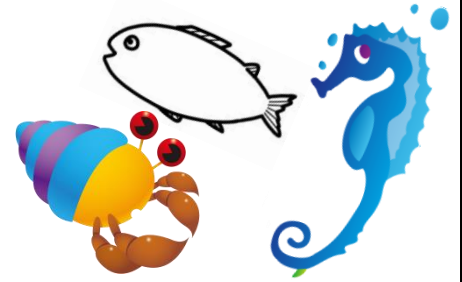
森崎にある「フードプランニング」。ここは、知的障がい者、精神障がい者のみなさんが就労のためのトレーニングをする施設。バーベキュー材料の袋詰めなどの仕事をしています。白衣を着て、現場の作業も見せていただきました。始まって9か月。軌道に乗ってきたとのこと。



こちらは光風台にある「ローズハイツ」。サービスク付き高齢者住宅。ちよびでデイサービスの高齢者のみなさんが楽しく談笑していただき、市議団も参加させていただきました。



長坂にある「放課後等デイサービス・みうらんど」。ここは、障がいをもった子どもたちの放課後の居場所としての施設です。まだ、伺ったときは、開設されていず、内覧会を行っていました。温かく親しみのある空間で、優しいスタッフのみなさんが、準備作業をされていました。宮川所長が、開設までのご苦労やこれからの抱負を語ってくださいました。



佐島の天神島ビジターセンター。
入口に「アオウミウシ」がいて、あまりの美しさにねぎし議員と2人で感激しました。担当の職員に生き物の話を詳細に聞くことが出来ました。

普段、駅頭・街頭において言葉で平和を訴えるのが私たちの活動スタイル。他方、芸術の表現によって平和を訴えるという「ヨコスカ平和美術展」。表現はさまざまです。議員団も大いに元気をもらいました。九条ポスター展示も同時開催されていて、こちらも素敵な作品がたくさんありました。改めて、「戦争法案」廃案への決意を固めました。



市長が渡米、海軍造船所を視察

戦争法案とも密接に連動

原子力空母の交代を前にパフォーマンス？

「メンテナンスがどのような技術に支えられているのか、この機会に視察させていただきたい。」吉田市長は自身のブログの中でこう書いています。5月の初旬に原子力機関部長のリチャードソン大將から招待状をもらって、迷うことなく渡米を決めたといっています。

西海岸のピュージェットサウンド海軍造船所、東海岸の黒船祭、1週間の渡米視察は本当に必要だったのでしょうか。私には疑問です。



原子力空母ニミッツの格納庫、フライトデッキ、飛行甲板、食堂など2時間ほどかけて視察したそうですが、原子力推進機関エリアは嚴重でセキュリティレベルが高く入れなかったといっています。しかし、作業員は口々に安全性を繰り返していたとのことで、市長は「安全管理の意識の高さを認識することができた。」と言います。4人で1週間、約300万円の視察費用。原子力空母の交代を前にしてのパフォーマンスでしょうが、そんなに優秀な技師が揃っているなら、いっそのこと本国でメンテナンスをしたらどうでしょう。さらに言えば、レーガンが来ないのが一番の安全、これははっきりしていると思います。引き続き議会の内外で追及を強めてまいります。